



# おんな城主 直虎 大河ドラマ館

お家断絶の危機に立ち上がった、希代の“女城主”。歴代当主の中に記名はありませんが、受け継がれる井伊氏の歴史と、戦国時代を語る上で注目される人物です。

**直** 虎(幼名・生年月日不明)は、井伊家第22代当主直盛と新野左馬助親矩の妹との間に誕生した一人娘とされています。直盛には嫡男がなく、従弟の亀之丞(後の井伊直親)を一人娘の許婚とし、井伊家の跡継ぎとする予定でした。ところが、天文13年(1544)、亀之丞の父・井伊直満が今川氏に謀反の嫌疑をかけられ殺害され、さらに当時9歳だった亀之丞も命を狙われたため、信濃(長野県下伊那郡高森町)松源寺に身を隠すことになります。一方、許婚から引き離された直虎は、菩提寺である龍潭寺にて出家を決意。龍潭寺二世住職 南溪和尚によって井伊家跡継ぎの証である「次郎」を冠した「次郎法師」の名が与えられました。



龍潭寺



井伊谷宮